



図書室だより

No.3

発行・編集

鬼北町中央公民館

中央公民館の図書室は、子育て支援の一環として、幼児の絵本や小学生向けの本、子育て中のお母さんに役立つ育児の本など、話題の本を多数取り揃えています。また、インターネットのできるパソコンもありますので、学習活動にぜひ中央公民館図書室をご利用ください。

【利用案内】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

開館日：火曜日から土曜日

時 間：午前10時30分から午後6時30分まで

定休日：日曜日・月曜日・年末年始

貸 出：1人 3冊まで 2週間借りられます。

1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

おすすめの本



○ 「てぶくろ」 作：エウゲーニー・M・ラチョフ

ウクライナの民話。雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこんだ。そこへカエルやウサギやキツネがつぎつぎにやってきて、とうとう手袋ははじけそう……。個性のある動物の表情が特にすばらしい絵本です。

○ 「ヘビのヴェルディくん」 作：ジャネル・キャン

ヘビのヴェルディは、今のままの自分が気に入っています。誰がみどり色なんかの大人のヘビになってやるもんか！こどもの成長について、優しくユーモラスに物語っている作品です。

○ 「パパの涙で子は育つ-シングルパパの子育て奮闘記-」 著：込山正徳

ある日、ママがいなくなった。TVディレクターの主人公には、幼い二人の子供が残された。感傷に浸っている暇もなく、親子三人・全力投球の日々が始まった。笑いにあふれ、汗にまみれ、ちょっぴり涙もこぼれるシングルパパライフを描いた作品。

○ 「清須会議」 著：三谷幸喜

信長亡きあとの清須城を舞台に、跡目を決める心理戦が始まった。猪突猛進な柴田勝家、用意周到な羽柴秀吉。「情」と「利」の間でどちらに付くか迷う武将たち。愛憎を抱えながら、陰でじっと見守る、お市、寧、松姫ら女たち。歴史の裏の思惑が今明かされる。歴史ものですが、セリフが現代語でつづられており、歴史が苦手な人でも読みやすい作品となっています。